



平成 16 年 11 月 19 日 実施

神奈川県高等学校教科研究会数学部会編

数 学 学 力 テ ス ト

(時間 50 分)

(無断転載を禁じます)

第	学年	組	番	氏 名	
---	----	---	---	--------	--

注 意 事 項

1. 解答用紙はこの問題用紙にはさんであります。
2. SII α または SII β のうち、学校で指定されたいずれか一方を解答して下さい。
 - SII α は、1 頁～7 頁に印刷してあります。
[$\alpha - 1$] から [$\alpha - 16$] までの 16 群のうちから、学校で指定された 4 群を解答して下さい。
 - SII β は、8 頁～14 頁に印刷してあります。
 β 選択問題 については [$\beta - 1$] から [$\beta - 13$] までの 13 群のうちから、学校で指定された 2 群を解答して下さい。
3. 解答はすべて解答用紙に記入して下さい。
ただし、SII β を解答する場合は、指定された 2 群の番号を、下欄および解答用紙の選択番号欄に番号順に記入して下さい。
 $\beta - \square$, $\beta - \square$ ← SII β の選択番号
4. 解答用紙の記入する欄を間違えないように注意して下さい。

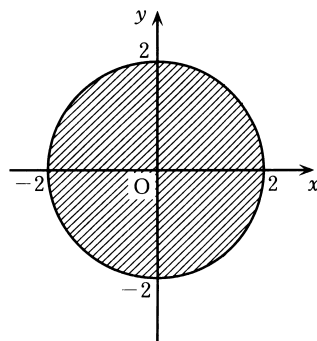
S II α 学 力 テ ス ト

[$\alpha-1$] **式と証明・高次方程式** (この選択群で使用している i は虚数単位を表わす)

- (1) $(1+2i)(3-i)$ を計算せよ。
- (2) 整式 $2x^3-5x^2+4x-3$ を整式 x^2-x+1 を割った商と余りを求めよ。
- (3) 2次方程式 $x^2-x+2=0$ を解け。
- (4) $\frac{a-b}{a+b} \div \frac{(a-b)^2}{a^2-b^2}$ を計算せよ。
- (5) 2つの複素数 $1+i$, $1-i$ を解にもつ2次方程式を求めよ。ただし、 x^2 の係数は1とする。

[$\alpha-2$] **図形と方程式**

- (1) 2点 $A(2, -3)$, $B(-1, 2)$ 間の距離 AB を求めよ。
- (2) 2点 $A(3, -2)$, $B(6, 4)$ について、線分 AB を $2:1$ の比に内分する点の座標を求めよ。
- (3) 点 $(1, 2)$ を通り、直線 $y=3x-4$ に平行な直線の方程式を求めよ。
- (4) 2点 $A(0, 4)$, $B(2, 0)$ に対して、等式 $AP=BP$ を満たす点 P の軌跡の方程式を求めよ。
- (5) 右の図の円で囲まれた斜線部分を表す不等式を求めよ。
ただし、境界を含むものとする。



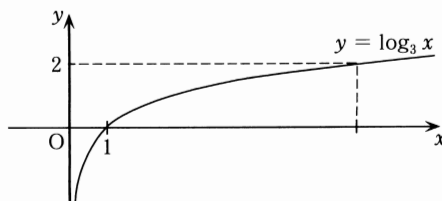
[$\alpha-3$] **三角関数**

- (1) 135° を弧度法で表せ。
- (2) $\cos\left(-\frac{\pi}{6}\right)$ の値を求めよ。
- (3) $\tan \theta > 0$ を満たす θ は第何象限の角か。あてはまる象限を下の①～④の中よりすべて選び、番号で答えよ。
① 第1象限 ② 第2象限 ③ 第3象限 ④ 第4象限
- (4) θ が第3象限の角で $\sin \theta = -\frac{1}{3}$ のとき、 $\cos \theta$ の値を求めよ。
- (5) $\sin 15^\circ$ の値を求めよ。

[$\alpha-4$] 指数関数・対数関数

- (1) $\sqrt[3]{-64}$ の値を求めよ。
- (2) 方程式 $3^x = \frac{1}{27}$ を解け。
- (3) $2\log_2 6 - \log_2 9$ を計算せよ。
- (4) $\log_{10} 2 = a$, $\log_{10} 3 = b$ とするとき, $\log_{10} 12$ を a , b で表せ。
- (5) 右の図は関数 $y = \log_3 x$ のグラフである。

不等式 $\log_3 x < 2$ を満たす x の値の範囲を求めよ。



[$\alpha-5$] 微分・積分の考え

- (1) 関数 $y = x^3 - 2x^2 + 9x - 3$ を微分せよ。
- (2) 関数 $f(x) = x^2 + 1$ について, x の値が -2 から -1 まで変化するとき, $f(x)$ の平均変化率を求めよ。
- (3) 曲線 $y = 2x^2$ 上の点 $(1, 2)$ における接線の方程式を求めよ。
- (4) 不定積分 $\int (x^2 - 6x + 4) dx$ を求めよ。ただし, 積分定数として C を用いよ。
- (5) 定積分 $\int_{-1}^1 (x^2 + x + 1) dx$ の値を求めよ。

[$\alpha-6$] 式と証明・高次方程式 (等式の証明, 不等式の証明は除く)

- (1) $\frac{8a^2b^4c^3}{6a^3bc^3}$ を簡単にせよ。
- (2) $(1 - \sqrt{-4})(1 + \sqrt{-4})$ を計算せよ。
- (3) 2次方程式 $x^2 - 2x + 3 = 0$ の2つの解を α, β とするとき, $(\alpha + 1)(\beta + 1)$ の値を求めよ。
- (4) 整式 $x^3 - 6x^2 + 3x + 10$ を因数分解せよ。
- (5) 2次方程式 $x^2 - 3x + k = 0$ が異なる2つの虚数解をもつように定数 k の値の範囲を定めよ。

[α-7] **図形と方程式** (軌跡と領域は除く)

- (1) 2点 $A(4, -2)$, $B(1, 7)$ について, 線分 AB を $2:1$ の比に外分する点の座標を求めよ。
- (2) 3点 $A(1, -3)$, $B(-5, 7)$, $C(7, 11)$ を頂点とする $\triangle ABC$ の重心の座標を求めよ。
- (3) 直線 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ に垂直な直線の方程式を下の ① ~ ④ の中より 1 つ選び, 番号で答えよ。
 ① $y = \frac{1}{2}x + 4$ ② $y = -\frac{1}{2}x + 5$ ③ $y = 2x - 1$ ④ $y = -2x - 2$
- (4) 円 $x^2 + y^2 - 10x + 12y - 3 = 0$ の中心の座標と半径を求めよ。
- (5) 2点 $(4, -1)$, $(-2, 7)$ を直径の両端とする円の方程式を求めよ。

[α-8] **三角関数** (加法定理は除く)

- (1) 750° の動径が表す角のうち, 正で最小のものを求めよ。
- (2) 半径 4, 弧の長さ π の扇形の中心角を弧度法で表せ。
- (3) $\sin \frac{\pi}{5}$ の値と一致するものを下の ① ~ ④ の中より 1 つ選び, 番号で答えよ。
 ① $\sin \frac{6}{5}\pi$ ② $\cos \frac{6}{5}\pi$ ③ $\sin \frac{4}{5}\pi$ ④ $\cos \frac{4}{5}\pi$
- (4) $y = \cos \theta + 2$ のとき, y のとりうる値の範囲を求めよ。
- (5) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{2}$ のとき, $\sin \theta \cos \theta$ の値を求めよ。

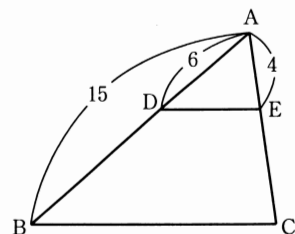
[α-9] **指数関数・対数関数** (対数関数は除く)

- (1) $5^{\frac{1}{2}} \times 5^{\frac{5}{6}} \div 5^{\frac{1}{3}}$ を計算せよ。
- (2) 次の 3 つの数の大小を調べ, 小さい順に左から並べよ。
 $\sqrt[3]{16}$, $\sqrt{8}$, $\sqrt[4]{32}$
- (3) 方程式 $2^x = \sqrt{2}$ を解け。
- (4) 不等式 $3^x \leq 81$ を満たす x の値の範囲を求めよ。
- (5) $\left(3^{\frac{1}{3}} + 1\right)\left(3^{\frac{2}{3}} - 3^{\frac{1}{3}} + 1\right)$ を計算せよ。

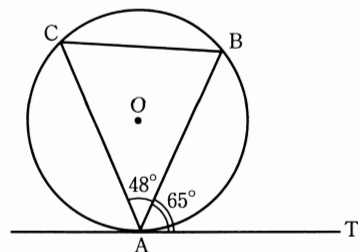
- (1) 3つの線分の長さが次の(ア)～(エ)のように与えられたとき、それらを3辺とする三角形ができるものをすべて選び、記号で答えよ。

(ア) 3, 5, 7 (イ) 4, 10, 15 (ウ) 2, 6, 8 (エ) 5, 11, 15

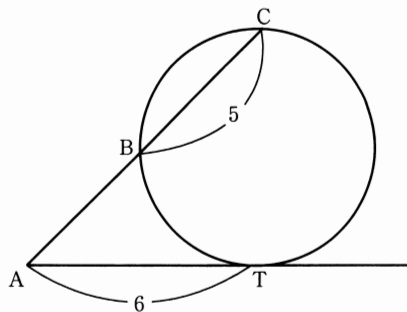
- (2) 右図のように、 $\triangle ABC$ の辺 AB , AC 上に $BC \parallel DE$ となるようにそれぞれ点 D , E をとる。 $AD = 6$, $AB = 15$, $AE = 4$ であるとき、 AC の長さを求めよ。



- (3) 右図のように、直線 AT が点 A で円 O に接している。 $\angle BAT = 65^\circ$, $\angle CAB = 48^\circ$ のとき、 $\angle ABC$ の大きさを求めよ。



- (4) 右図のように、円の外部の点 A から円に接線を引き、接点を T とする。また、 A から円と2点 B , C で交わる直線を引く。 $AT = 6$, $BC = 5$ のとき、線分 AB の長さを求めよ。



- (5) 半径が5の円と半径が x の円がある。中心間の距離が4で、2つの円が互いに接しているとき、 x の値を求めよ。

[α-11] 集合と論理

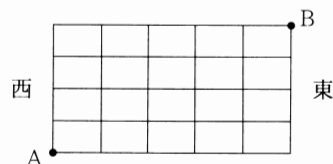
- (1) 2つの集合 $A = \{1, 2, 3, 4, 6, 12\}$, $B = \{1, 2, 3, 6, 9, 18\}$ について, 集合 $A \cap B$ を要素を書き並べる方法で表せ。
- (2) 50 から 100 までの自然数のうち, 3 または 4 の倍数は何個あるか。
- (3) 次の (ア) ~ (エ) の命題の中から真であるものをすべて選び, 記号で答えよ。
 (ア) $\sqrt{4}$ は無理数である。
 (イ) $\sqrt{(-5)^2} = -5$
 (ウ) $3^2 + 4^2 = 5^2$
 (エ) すべての円は互いに相似である。
- (4) 次の に適するものを, 下の (ア) ~ (エ) の中から選び, 記号で答えよ。
 「実数 x について, $x^2 = 1$ は $x = 1$ であるための 。」
 (ア) 必要条件であるが十分条件ではない
 (イ) 十分条件であるが必要条件ではない
 (ウ) 必要十分条件である
 (エ) 必要条件でも十分条件でもない
- (5) 40人のクラスで英語と数学のテストを行ったところ, 英語が70点以上的人是12人, 数学が70点以上的人是20人, 英語と数学がともに70点以上的人是7人であった。このとき, 英語と数学がともに70点未満の人は何人か。

[α-12] 場合の数と確率

- (1) 4枚のカード , , , を一列に並べる方法は何通りあるか。
- (2) 男子9人, 女子5人の中から, 男子3人, 女子2人の合計5人の委員を選ぶ方法は, 何通りあるか。
- (3) 大小2つのさいころを同時に投げるとき, ともに奇数の目が出る確率を求めよ。
- (4) 9本のくじの中に3本の当たりくじが入っている。このくじの中から同時に3本引くとき, 少なくとも1本は当たりくじである確率を求めよ。
- (5) 10点のカードが3枚, 20点のカードが2枚, 30点のカードが1枚の計6枚が箱の中に入っている。この中から1枚のカードを取り出すとき, そのカードの点数の期待値を求めよ。

[$\alpha - 13$] **場合の数と確率** (確率は除く)

- (1) $(a+b+c)(x+y+z)$ を展開した式の項の数を求めよ。
- (2) 男子 5 人, 女子 2 人の計 7 人が一列に並ぶとき, 女子 2 人が隣り合う場合は何通りあるか。
- (3) 右図のように, 東西に 5 本, 南北に 6 本の道路がある。
A 地点から B 地点まで最短距離で行く道順は何通りあるか。



- (4) 3 個の数字 1, 2, 3 を使ってできる 5 桁^{けた}の整数はいくつあるか。ただし, 同じ数字を繰り返し使えるものとする。
- (5) $(a-2b)^5$ を展開したとき, a^3b^2 の項の係数を求めよ。

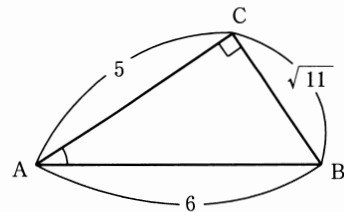
[$\alpha - 14$] **方程式と不等式**

- (1) $(a-3)(a^2+6a-1)$ を展開せよ。
- (2) 不等式 $2(x-2) < 3x-5$ を解け。
- (3) $\frac{1}{\sqrt{3}+\sqrt{2}}$ の分母を有理化せよ。
- (4) 2 次方程式 $x^2-16x+64=0$ を解け。
- (5) $|2-5|-2 \times |3|$ を計算せよ。

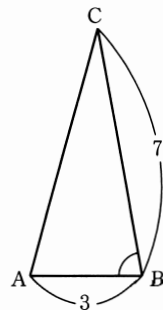
[$\alpha - 15$] **2 次関数**

- (1) 2 次関数 $y = 2x^2-5x+1$ について, $x = -1$ のときの y の値を求めよ。
- (2) 2 次関数 $y = x^2-6x+11$ のグラフの頂点の座標を求めよ。
- (3) 2 次関数 $y = 3(x-2)^2+4$ ($0 \leq x \leq 3$) の最大値と最小値を求めよ。
- (4) 2 次不等式 $x^2-11x+28 > 0$ を解け。
- (5) 2 次関数 $y = 2x^2-4x+m$ のグラフが x 軸と 2 点で交わるように, 定数 m の値の範囲を定めよ。

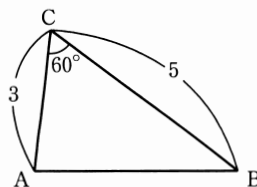
- (1) 右図のような, $AB = 6$, $BC = \sqrt{11}$, $AC = 5$, $\angle C = 90^\circ$ の
直角三角形 ABC において, $\cos A$ の値を求めよ。



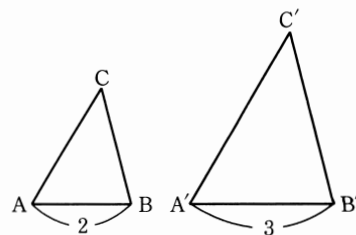
- (2) $\triangle ABC$ において, $AB = 3$, $BC = 7$, $\cos B = \frac{1}{6}$ のとき,
辺 AC の長さを求めよ。



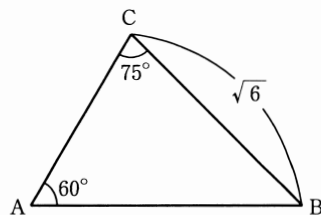
- (3) $\triangle ABC$ において, $AC = 3$, $BC = 5$, $\angle C = 60^\circ$ のとき,
 $\triangle ABC$ の面積を求めよ。



- (4) $\triangle ABC$ と $\triangle A'B'C'$ は相似である。 $AB = 2$,
 $A'B' = 3$ のとき, $\triangle ABC$ と $\triangle A'B'C'$ の面積比を
最も簡単な整数比で表せ。



- (5) 右図のような, $BC = \sqrt{6}$, $\angle A = 60^\circ$, $\angle C = 75^\circ$ の $\triangle ABC$ において, 辺 AC の
長さを求めよ。



S II β 学 力 テ ス ト

β 共通問題 (ここで使用している i は虚数単位とする)

次の問いに答えよ。

- (1) $\frac{a-b}{a+b} \div \frac{(a-b)^2}{a^2-b^2}$ を計算せよ。
- (2) $(2+3i)(a+bi) = 7+4i$ を満たす実数 a, b の値を求めよ。
- (3) 2 次方程式 $x^2+x+1=0$ の 2 つの解を α, β とするとき, $2\alpha, 2\beta$ を解とする 2 次方程式を求めよ。ただし, x^2 の係数は 1 とする。
- (4) 3 点 $A(1, -3), B(-5, 7), C(a, b)$ を頂点とする $\triangle ABC$ の重心の座標が $(2, 3)$ であるとき, 定数 a, b の値を求めよ。
- (5) 点 $(1, 2)$ を通り, 直線 $3x-y-4=0$ に平行な直線の方程式を求めよ。
- (6) 直線 $2x+y-5=0$ に関して, 点 $(-1, 2)$ と対称な点の座標を求めよ。
- (7) $a > 0$ のとき, 次の問いに答えよ。
 - (ア) $\left(a+\frac{1}{a}\right)\left(a+\frac{4}{a}\right)$ を展開せよ。
 - (イ) $\left(a+\frac{1}{a}\right)\left(a+\frac{4}{a}\right)$ の最小値を求めよ。また, そのときの a の値を求めよ。
(途中経過を書け)
- (8) 円 $x^2+y^2=9$ 上の点 $(2, \sqrt{5})$ における接線を l とする。次の問いに答えよ。
 - (ア) l の方程式を求めよ。
 - (イ) 点 $(3, 0)$ を中心とし, l に接する円の方程式を求めよ。(途中経過を書け)

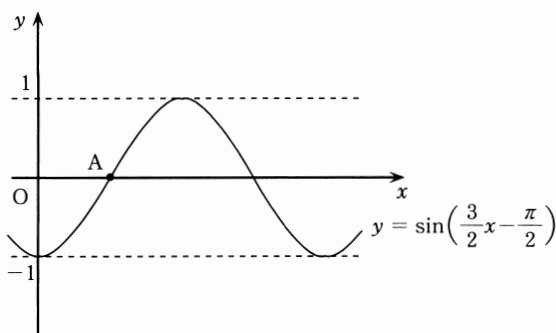
β 選択問題

$[\beta-1]$ から $[\beta-13]$ までの 13 群のうち、学校で指定された 2 群を解答すること。

 $[\beta-1]$ 三角関数

- (1) $\sin 15^\circ$ の値を求めよ。
- (2) 不等式 $\tan \theta > 0$ を満たす θ の値の範囲を求めよ。ただし、 $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。
- (3) $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、方程式 $\cos 2\theta = 3 \sin \theta - 1$ を解け。
- (4) 関数 $y = \sin \theta + \cos \theta$ の最大値を求めよ。
- (5) 下図は関数 $y = \sin\left(\frac{3}{2}x - \frac{\pi}{2}\right)$ のグラフの一部である。

点 A の x 座標を求めよ。

 **$[\beta-2]$ 指数関数・対数関数**

- (1) $\sqrt[3]{a^4} \times \sqrt{a^3} \div \sqrt[6]{a^5}$ を簡単にせよ。ただし、 $a > 0$ とする。
- (2) 方程式 $3^{x-2} = \frac{1}{9}$ を解け。
- (3) $\log_{10} \frac{1}{4} - 2 \log_{10} 3 + \log_{10} \frac{9}{25}$ を計算せよ。
- (4) $\log_{10} 2 = a$, $\log_{10} 3 = b$ とするとき、 $\log_{10} 15$ を a , b で表せ。
- (5) 方程式 $2 \log_2(x-1) = \log_2(x+3) + 1$ を解け。

[$\beta-3$] **微分・積分の考え**

- (1) 定積分 $\int_{-1}^1 (x^2+x+1)dx$ の値を求めよ。
- (2) 放物線 $y = x^2 - 2x$ 上の点 $(-1, 3)$ における接線の方程式を求めよ。
- (3) 関数 $f(x)$ が次の条件を満たすとき、定数 a の値を求めよ。

$$f'(x) = 2x + a, \quad f(0) = 3, \quad f(1) = 2$$
- (4) 3次方程式 $x^3 - 3x - a = 0$ が異なる3つの実数解をもつとき、定数 a の値の範囲を求めよ。
- (5) 2つの放物線 $y = x^2, y = -x^2 + 2x$ で囲まれた部分の面積 S を求めよ。

[$\beta-4$] **式と証明・高次方程式** (この選択群で使用している i は虚数単位とする)

- (1) 整式 $x^3 - 6x^2 + 3x + 10$ を因数分解せよ。
- (2) 2次方程式 $x^2 - 3x + k + 1 = 0$ が異なる2つの虚数解をもつように、定数 k の値の範囲を定めよ。
- (3) 2次方程式 $3x^2 + ax + b = 0$ の1つの解が $1 - \sqrt{3}i$ であるとき、 a, b の値を求めよ。
ただし、 a, b はともに実数とする。
- (4) 等式 $a(x-1)(x-2) + b(x-2)(x-3) + c(x-3)(x-1) = 2$ が x についての恒等式になるように、定数 a, b, c の値を定めよ。
- (5) $x = 1 + i$ のとき、 $x^3 - x^2 - 3x + 1$ の値を求めよ。

[$\beta-5$] **図形と方程式** (軌跡と領域は除く)

- (1) 2点 $(4, -1), (-2, 7)$ 間の距離を求めよ。
- (2) 4点 $A(1, 2), B(3, -4), C(6, -5), D(a, b)$ を頂点とする四角形 $ABCD$ が平行四辺形であるとき、定数 a, b の値を求めよ。
- (3) 2直線 $2x - y - 5 = 0, x + y + 2 = 0$ の交点と点 $(3, -4)$ を通る直線の方程式を求めよ。
- (4) 円 $x^2 + y^2 = 5$ と直線 $y = -2x + k$ が共有点をもつように、定数 k の値の範囲を定めよ。
- (5) 2円 $(x-2)^2 + (y-3)^2 = 9, (x+1)^2 + (y-1)^2 = r^2$ が接するとき、正の定数 r の値を求めよ。

[β-6] **三角関数** (加法定理を除く)

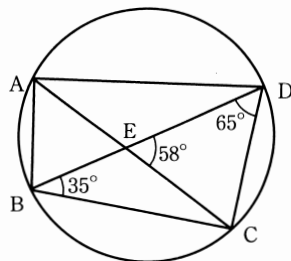
- (1) 関数 $y = \tan \frac{\theta}{2}$ の周期を求めよ。
- (2) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{2}$ のとき、 $\sin \theta \cos \theta$ の値を求めよ。
- (3) $\sin(\theta + \pi) \cos\left(\theta + \frac{\pi}{2}\right) - \cos(\theta + \pi) \sin\left(\theta + \frac{\pi}{2}\right)$ を簡単にせよ。
- (4) $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、不等式 $\sqrt{2} \sin \theta \geq 1$ を満たす θ の値の範囲を求めよ。
- (5) $y = \sin \theta + 3$ のとき、 y のとりうる値の範囲を求めよ。

[β-7] **指数関数・対数関数** (対数関数は除く)

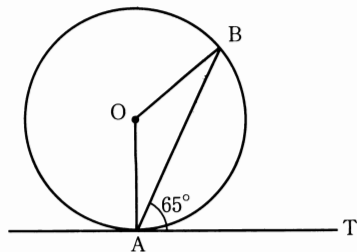
- (1) $\sqrt{a} \sqrt[3]{a}$ を a^r の形に表せ。ただし、 $a > 0$ とする。
- (2) 次の3つの数の大小を調べ、小さい順に左から並べよ。
 $\sqrt[3]{\frac{1}{4}}, 2^{-3}, \left(\frac{1}{8}\right)^{-1}$
- (3) 不等式 $\left(\frac{1}{3}\right)^{x+1} > \left(\frac{1}{9}\right)^x$ を解け。
- (4) 方程式 $9^x - 10 \cdot 3^x + 9 = 0$ を解け。
- (5) 関数 $y = 2^{x+2} - 4^x$ の最大値とそのときの x の値を求めよ。

[β-8] **平面図形**

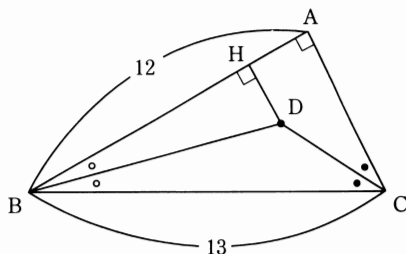
- (1) $\triangle ABC$ において、 $\angle A = 60^\circ$ 、 $AB < CA$ であるとき、3辺 AB, BC, CA を長さが小さい順に左から並べよ。
- (2) 右図のように、円に内接している四角形 $ABCD$ の対角線 AC と BD の交点を E とする。
 $\angle CBD = 35^\circ$ 、 $\angle BDC = 65^\circ$ 、 $\angle CED = 58^\circ$ のとき、 $\angle ADE$ の大きさを求めよ。



- (3) 右図のように、直線 AT が点 A で円 O に接している。 $\angle BAT = 65^\circ$ のとき、 $\angle AOB$ の大きさを求めよ。



- (4) 右図のような、 $\angle A = 90^\circ$ 、 $AB = 12$ 、 $BC = 13$ の直角三角形 ABC において、 $\angle B$ 、 $\angle C$ のそれぞれの 2 等分線の交点を D とし、点 D から辺 AB に垂線 DH を下ろす。線分 DH の長さを求めよ。



- (5) 半径が 5 の円と半径が x の円がある。中心間の距離が 4 で 2 つの円が 2 点を共有するとき、 x の値の範囲を求めよ。

[$\beta-9$] 集合と論理

- (1) 全体集合を $U = \{1, 3, 5, 7, 9, 11, 13\}$ 、その部分集合を $A = \{1, 5, 9\}$ 、 $B = \{1, 5, 11\}$ とする。集合 $\overline{A \cap B}$ を要素を書き並べる方法で表せ。
- (2) 全体集合 $U = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10\}$ の部分集合 A, B について、 $A \cap B = \{2, 4, 6\}$ 、 $\overline{A \cup B} = \{1, 5, 8\}$ 、 $A \cap \overline{B} = \{3, 10\}$ のとき、集合 B を要素を書き並べる方法で表せ。
- (3) 次の に適するものを、下の (ア) ~ (エ) の中から選び、記号で答えよ。
「実数 x について、 $x = -3$ は $x^2 + 2x - 3 = 0$ であるための 。」
- (ア) 必要条件であるが十分条件ではない
(イ) 十分条件であるが必要条件ではない
(ウ) 必要十分条件である
(エ) 必要条件でも十分条件でもない
- (4) 40 人のクラスで英語と数学のテストを行ったところ、英語が 70 点以上の人は 12 人、数学が 70 点以上の人は 20 人、英語と数学がともに 70 点以上の人は 7 人であった。このとき、英語と数学がともに 70 点未満の人は何人か。
- (5) 実数 x に関する次の命題の対偶を書け。また、その真偽を答えよ。
「 $x < 2$ ならば $x^2 - 2x < 0$ である。」

[β-10] 場合の数と確率

- (1) a, b, c, d, e, f の 6 文字を一列に並べるとき、 a と b が両端にくる並べ方は何通りあるか。
- (2) 9 人の中から 4 人の委員を選ぶとき、特定の 2 人が必ず選ばれる方法は何通りあるか。
- (3) 白球 4 個、赤球 6 個が入っている袋の中から、3 個の球を同時に取り出すとき、少なくとも 1 個は白球である確率を求めよ。
- (4) 1 つのさいころを 5 回投げたとき、3 回だけ 3 の倍数の目が出る確率を求めよ。
- (5) 10 点のカードが 2 枚、20 点のカードが 3 枚、30 点のカードが 1 枚の合計 6 枚のカードが箱の中に入っている。この中から同時に 2 枚のカードを取り出すとき、それらのカードの合計点の期待値を求めよ。

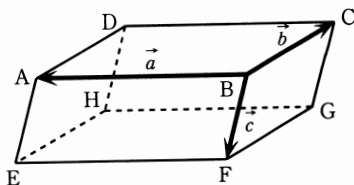
[β-11] 場合の数と確率 (確率は除く)

- (1) 200 の正の約数の個数を求めよ。
- (2) 6 個の数字 0, 1, 2, 3, 4, 5 から異なる 3 個の数字を使ってできる 3 桁^{けた}の奇数はいくつあるか。
- (3) 10 人の生徒を、5 人ずつの 2 グループに分ける方法は何通りあるか。
- (4) A, B, C, D, E, F の 6 人が円形のテーブルに着席するとき、A, B, C の 3 人のうち、いずれの 2 人も隣り合わない場合は何通りあるか。
- (5) $(a-2b)^5$ を展開したとき、 a^3b^2 の項の係数を求めよ。

[β-12] 数 列

- (1) 第 3 項が 4、第 6 項が 25 である等差数列の初項と公差を求めよ。
- (2) 初項が 106、公差が -4 の等差数列で、初めて負になるのは第何項か。
- (3) 公比 3 の等比数列で、初項から第 6 項までの和が -728 のとき、初項を求めよ。
- (4) $\sum_{k=1}^n (3k^2+k)$ を求めよ。
- (5) 条件 $a_1 = 2$, $a_{n+1} = 4a_n + 3$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) で定義された数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $\vec{a} = (2, 3)$, $\vec{b} = (-1, 2)$, $\vec{c} = (10, 1)$ に対して, $\vec{c} = m\vec{a} + n\vec{b}$ となるような実数 m, n の値を求めよ。
- (2) $\vec{a} = (-1, 5)$ と $\vec{b} = (5, p)$ が垂直になるように, 定数 p の値を定めよ。
- (3) $|\vec{a}| = 6$, $|\vec{b}| = 2$, $|\vec{a} + \vec{b}| = 4$ のとき, 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ の値を求めよ。
- (4) 平行六面体 ABCD-EFGH において, $\overrightarrow{BA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{BC} = \vec{b}$, $\overrightarrow{BF} = \vec{c}$ とするとき, $\overrightarrow{DF}$ を $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ で表せ。



- (5) $\vec{a} = (1, 2, 2)$, $\vec{b} = (1, 0, -1)$ と実数 t に対して, $|\vec{a} + t\vec{b}|$ の最小値を求めよ。